

【福岡女学院教会 主日家庭礼拝】

2024. 9. 8.

聖霊降臨節 第17主日

黙 想 (黙 禱)

招 詞 すべて重荷を負うて苦勞している者は、
わたしのもとにきなさい。
あなたがたを休ませてあげよう。

(『讃美歌21』93-1-7)

讃美歌 210 (来る朝ごとに)

主の祈り

讃 詠 28 (み栄えあれや)

聖 書 使徒言行録 19章11節～20節
(新約 251頁)

信仰告白 使 徒 信 条

メッセージ 「エフェソにて」 多田玲一牧師

祈 禱 ※それぞれ自由にお祈り下さい

讃美歌 399 (さすらいの民よ)

頌 栄 27 (父・子・聖霊の)

黙 想 (黙 禱)

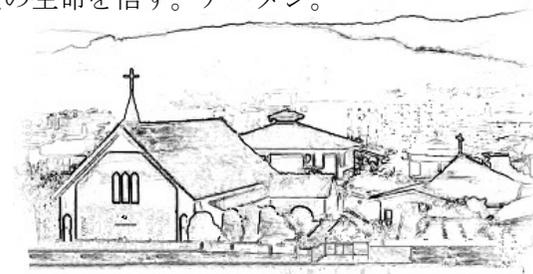
◎ 讃美歌は歌詞を読むだけでも結構です。

【主の祈り】 (『讃美歌21』93-5-A)

天にまします我らの父よ、ねがわくはみ名をあげめさせたまえ。
み国を来(きた)らせたまえ。
みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ。
我らの日用(にちよう)の糧(かて)を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、悪より救い出(いだ)したまえ。
国とちからと栄えとは 限りなくなんじのものなればなり。
アーメン

【信仰告白 使徒信条】 (『讃美歌21』93-4-A)

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりてやどり、処女マリヤより生れ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがへり、
天に昇り、全能の父なる神の右に坐したまへり、
かしこより来りて、生ける者と死ねる者とを審きたまはん。
我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交はり、罪の赦し、
身体のよみがへり、永遠の生命を信ず。アーメン。



日本基督教団 福岡女学院教会

牧 師 多田玲一

協力牧師 青木麻里子、大島一利

〒811-1321 福岡市南区柳瀬1丁目41-32

TEL 092-591-5627 (Fax 兼)

教会ホームページ [http:// www.fukujoch.com/](http://www.fukujoch.com/)

(教会創立 1946年6月2日)



9月 8日 使徒言行録 19章11節～20節

◆ユダヤ人の祈禱師たち

- 11 神は、パウロの手を通して目覚ましい奇跡を行われた。
- 12 彼が身に着けていた手ぬぐいや前掛けを持って行って病人に当てると、病気はいやされ、悪霊どもも出て行くほどであった。
- 13 ところが、各地を巡り歩くユダヤ人の祈禱師たちの中にも、悪霊どもに取りつかれている人々に向かい、試みに、主イエスの名を唱えて、「パウロが宣べ伝えているイエスによって、お前たちに命じる」と言う者があった。
- 14 ユダヤ人の祭司長スケワという者の七人の息子たちがこんなことをしていた。
- 15 悪霊は彼らに言い返した。「イエスのことは知っている。パウロのこともよく知っている。だが、いったいお前たちは何者だ。」
- 16 そして、悪霊に取りつかれている男が、この祈禱師たちに飛びかかって押さえつけ、ひどい目に遭わせたので、彼らは裸にされ、傷つけられて、その家から逃げ出した。
- 17 このことがエフェソに住むユダヤ人やギリシア人すべてに知れ渡ったので、人々は皆恐れを抱き、主イエスの名は大いにあがめられるようになった。
- 18 信仰に入った大勢の人が来て、自分たちの悪行をはっきり告白した。
- 19 また、魔術を行っていた多くの者も、その書物を持って来て、皆の前で焼き捨てた。その値段を見積もってみると、銀貨五万枚にもなった。
- 20 このようにして、主の言葉はますます勢いよく広まり、力を増していった。

※聖書は本文は全て、日本聖書協会『聖書 新共同訳』